

概要版

MOBARA

City Planning Master Plan

茂原市都市計画マスタープラン

— 茂原市の都市計画に関する基本的な方針 —



茂原市

MOBARA CITY

令和5年3月



都市計画ってどんなもの？

茂原市に住んでいる人、働いている人、訪れる人など、誰にとっても安全・安心で快適な場所となるように、土地の使い方や建物の建て方、道路や公園の整備・管理などに係るルールや計画を定めて、実現していくことを「都市計画」といいます。



都市計画マスタープランってどんな計画？

まず、都市計画マスタープランの位置づけについてご説明します。都市計画マスタープランは、都市計画法に基づいて「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として定める計画です。主に次のような役割を担っています。

- 実現すべき具体的な都市の将来ビジョン
- 具体的な都市計画の決定・変更する際の指針
- 都市づくりに係る各分野を横断する体系的な指針
- 都市づくりを担う多様な主体と共有するためのビジョン

本計画の対象区域は、茂原市全域となります。
目標年次は、20年後の本市の都市の姿を展望しながら、令和5年度から令和14年度までの10年間とします。



この計画はどうやって策定したの？

本計画は、社会経済情勢の変化や上位計画の改定などを踏まえて、これからの都市づくりの方向性を示す新たな計画として策定しました。計画策定に当たっては、市民の皆さまから幅広いご意見をいただくため、「市民意向調査」の実施、市民で構成する「策定市民委員会」の開催、説明動画の公開やパブリックコメントなど、様々な手法を取り入れました。



これまでの
茂原市都市計画マスタープラン
(平成14年当初策定)
(平成27年一部改定)

社会潮流・上位関連計画との整合

都市づくりに係る課題への対応

市民意向の把握・反映 など

新 し い
茂原市都市計画
マスタープラン

これからの茂原市が目指す“都市づくりの目標”

市全体で一貫性を持った都市づくりを推進するため、本市の最上位計画となる「茂原市総合計画」と合わせて『未来へつながる「交流拠点都市」もばら』を将来都市像に設定しました。将来人口も、**2032年時点で約84,000人**の確保を目標として設定しました。また、将来都市像の実現を都市計画分野から支えるため、本計画の重要ポイントである「**持続可能性の確保**」や「**安全・安心の強化**」の視点に立った“都市づくりのテーマ”を定めました。



都市づくりのテーマ

- 誰もが住み続けることができる 安全・安心な生活環境づくり
- 地域の中核都市にふさわしい 活力・にぎわいづくり
- 茂原の歴史・風土・文化を活かした 魅力づくり



茂原市が目指す“将来都市構造”

将来都市構造は、本市の特性や課題を踏まえて、「拠点」、「ゾーン」、「軸」の3要素から「これから目指すべき都市の骨格」をイメージ化したものです。



市街地ゾーン

- 用途地域が指定された既存市街地で、市民生活の中心な居住地及び商業・業務地として、その利便性と安全性の確保・充実を図るゾーン

産業ゾーン

- 本市の産業振興を支え、立地企業の操業・営業環境の維持と更なる充実を図るゾーン

緑住共生ゾーン

- 農地や丘陵地など、本市が有する豊かな自然環境の保全・管理・活用を図るとともに、それらと調和した居住地の維持・改善を図るゾーン

土地利用検討ゾーン

- 圏央道インターチェンジ及びスマートインターチェンジに近接する広域交通利便性を活かし、新たな産業や観光交流拠点の創出など、新たな土地利用を検討するゾーン

広域連携軸

- 自動車による広域移動を支える圏央道

都市軸

- 都市の骨格を形成する主要道路網

鉄道軸

- 鉄道による広域移動を支える鉄道網



本納副次拠点

- 本納駅周辺において、中心都市拠点と相互に補完・連携する市北部の核として、都市機能の充実と新たな活力の創出を目指す拠点

国道128号沿道拠点

- 国道128号沿道において、市民のみならず周辺都市の利便性とにぎわいを支える商業・業務・サービス機能を有した沿道型拠点

新茂原生活拠点

- 新茂原駅周辺において、地域住民の生活利便性を支える商業・交通機能等を有する拠点

観光交流拠点

- 本市の歴史・文化資源や公園・緑地を活かした、市内外から多くの来訪者が集まる交流拠点

中心都市拠点

- 茂原駅周辺において、商業・業務、行政・文化、医療・福祉など、広域に波及する多様な都市機能を有する本市の中心拠点

市全域を対象とした分野ごとの都市づくり方針“全体構想(分野別方針)”



茂原市全域を対象に、「土地利用」、「交通体系」、「水と緑」、「都市環境」、「安全・安心」の5つの分野ごとに、目指す都市づくりの方針を示します。また、それぞれの分野に対応するSDGsゴールを設定しています。

土地利用の基本方針

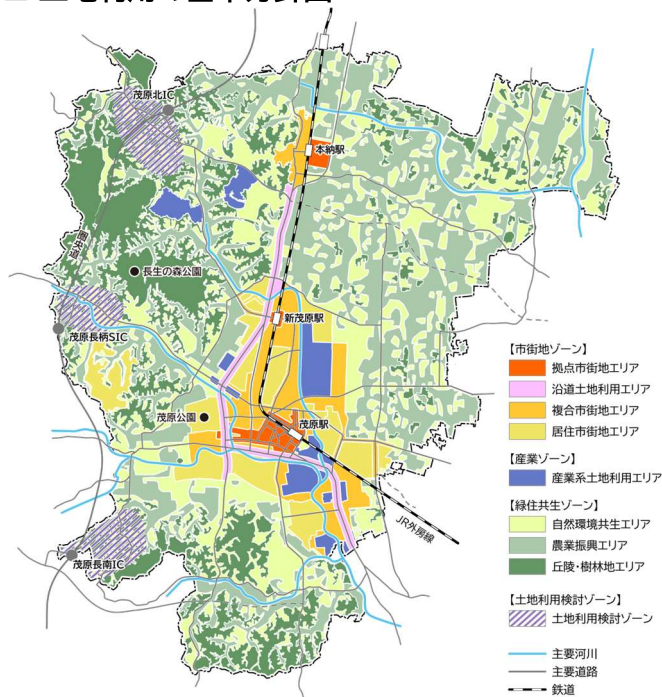
地域の役割や特性を踏まえた メリハリのある土地利用の推進

本市が将来にわたって持続可能な都市として維持・発展していくためには、社会経済情勢に対応した適切な土地利用誘導を展開していく必要があります。

本市においては、人口減少や高齢化の進展が予想される一方で、圏央道など新たな都市基盤整備に伴う土地需要の増加等も期待されることから、“量”と“質”のバランスに配慮しながら、地域の役割や特性を踏まえたメリハリのある土地利用を推進します。



■ 土地利用の基本方針図



交通体系の基本方針

都市の活力と市民の暮らしを支える 持続可能な交通体系の構築

本市が目指す「交流拠点都市」を実現していくためには、都市の内外を繋ぎ、人やモノの円滑な移動を支える道路網と公共交通網を将来にわたって維持し、より利用しやすい環境づくりに取り組んでいく必要があります。

持続可能な交通体系の構築に向けて、人口動向や新技術の発達など、これからの社会の動きを見据えながら適切な環境整備を進めるとともに、これまでに積み上げてきた既存ストックの適切な維持・管理と活用を図ります。



■ 道路網の整備方針図



水と緑の基本方針

都市の魅力をもつ 質の高い水と緑の継承

市街地内の公園・緑地をはじめ、農地や丘陵地、河川などに囲まれた潤いある居住環境は、本市の魅力のひとつです。

この良好な環境を維持し、よりよい資源として次世代へ継承していくために、多様な主体との連携・協働のもと、水と緑の適切な保全・管理と更なる活用を図りながら、安全面にも配慮した質の高い水と緑の環境整備を推進します。



都市環境の基本方針

既存ストックの適正管理による

持続可能な都市環境の整備

本市が目指す「交流拠点都市」を実現していくためには、誰もが住み続けたい、また訪れたいと感じることのできる、快適な都市環境の整備とともに、各種施設の維持・管理・更新等に係る都市経営コストの適正化が重要となります。

本市においては、これまで築き上げてきた都市基盤や都市景観などのハード・ソフト両面から、既存ストックを適正に維持・管理するとともに更なる機能の充実を図ります。



安全・安心の基本方針

多様な主体との連携・協働に基づく

安全・安心な都市づくり

本市が持続可能な都市として将来にわたって維持・成長していくためには、自然災害をはじめ、交通事故や犯罪などから、市民、事業者、来訪者の生命と財産を守ることもできる環境づくりが必要不可欠です。

引き続き、多様な主体との連携・協働のもとで、安全・安心な都市づくりに資する取り組みの展開を図ります。



各地区の特性・課題に応じた都市づくり方針“地区別構想”

本市を左図のように **5つの地区に区分** し、
全体構想(分野別方針)を踏まえながら、各地区が目指す
地区別まちづくりの目標・方針 を決めました。

自分たちが暮らす地区を
よりよい環境にしていくために、
**それぞれの立場で取り組める
活動に積極的に参加** していく
ことが大切だね！



新治・本納・豊岡地区

豊かな自然環境と歴史・文化、交通利便性を活かした
市北部の玄関口にふさわしいまちづくり



東郷地区

良好な田園環境と都市的土地利用が調和した
快適に暮らせるまちづくり



二宮・豊田地区

多様な拠点機能を活かした
利便性の高い安全・安心なまちづくり



茂原地区

多様な都市機能が集積する市の中心地
多くの人が集う魅力と活力あふれるまちづくり



五郷・鶴枝地区

恵まれた自然環境と新たな基盤整備を活かした
居住・交流・産業が調和したまちづくり

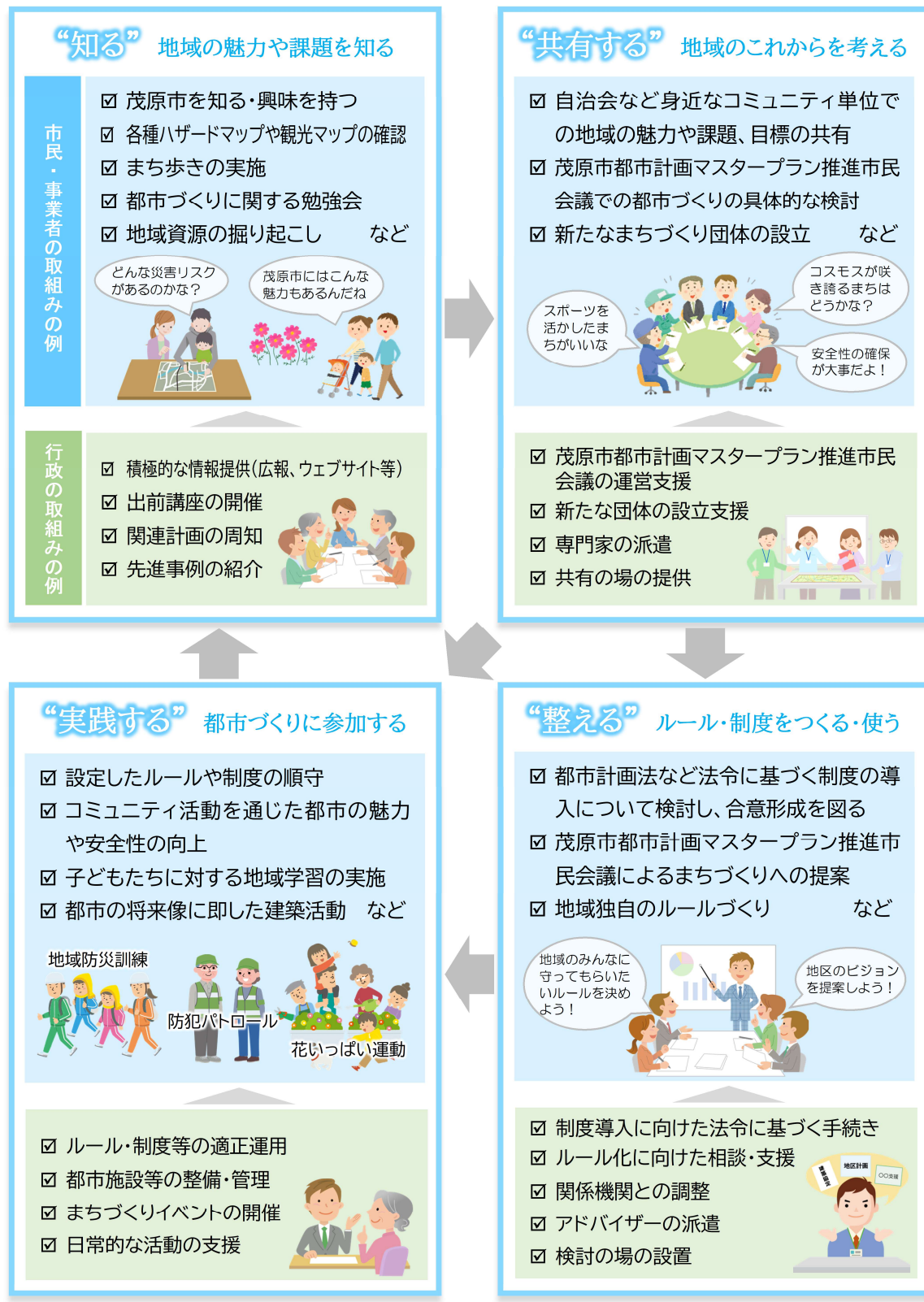


これからの都市づくりの進め方 “都市づくりの実現に向けて”

これからの都市づくりは、都市計画分野だけではなく、産業、医療・福祉、環境、文化など、様々な分野との相互連携を図りながら進めていくことになります。

市民、事業者、行政など **多様な主体との連携・協働** をさらに推進し、**最適な都市づくり手法の選択、計画の適切なマネジメント** に取り組みながら、目指すべき将来都市像の実現を目指します。

■ 多様な主体の連携・協働による都市づくりの取組みイメージ



茂原市



MOBARA CITY

概要版

茂原市都市計画マスタープラン

～茂原市の都市計画に関する基本的な方針～

発行／令和5年3月

編集／茂原市 都市建設部 都市計画課

〒297-8511 千葉県茂原市道表1番地

TEL:0475-20-1546

Fax:0475-20-1606

本編はコチラから

